

疼 痛 医 療 学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1 科目責任者

牛田享宏 教授(疼痛医学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-6-b)

- ① 全人的対応と他職種共有・協働を理解するため，非がんの痛みについて生物心理社会面から対応していくことの概略を修得する。
- ② 慢性疼痛が患者を苦しめる痛みのメカニズムを身体の器質的問題，精神心理的な問題の両面から評価し，それらが慢性疼痛の発症・維持に関与していることを理解する。それとともに，慢性疼痛の罹患率，各種治療とその満足度及びこれらの社会的な影響といった現況について修得する。

(2) 学修目標

- ① 神経メカニズムから痛みの定義を説明できる。
- ② 痛覚過敏，アロディニアとはどのような症状であるかを概説できる。
- ③ 末梢神経系や脊髄にあるイオンチャンネルと痛みの伝達について概説できる。
- ④ 脳内の痛みの伝達ネットワーク理解し，各種ニューロトランスマッターが果たす役割について説明できる。
- ⑤ 痛みの評価法にはどのようなものが有るか，その使い方について説明できる。
- ⑥ 鎮痛薬，鎮痛補助薬の作用メカニズム，副作用及び使い方について説明できる。
- ⑦ コミュニケーションスキルと認知行動療法の基本について概説できる。
- ⑧ 廃用と筋委縮，関節拘縮について概説できる。
- ⑨ サルコペニアやその予防の為の運動，食事療法について説明できる。
- ⑩ 神経除圧，神経刺激法などの適応や問題点を説明できる。
- ⑪ 頭痛の種類，治療法について説明できる。
- ⑫ 歯牙や舌，顎関節の動きと口腔周囲の機能変調について説明できる。
- ⑬ 疾病利得，stigmaなどのメカニズムを理解し説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	多肢選択式問題
レポート	○	20%	アクティブ・ラーニングについてのレポート
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験，レポート，態度の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(再試験は試験のみ60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

理解が不十分と思われる項目については学内メールにて再確認を促す。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
疼痛医学	田口敏彦, 牛田享宏, 飯田宏樹	医学書院	痛みの基礎から臨床まで網羅的に記載されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
痛み学－臨床のためのテキスト－	熊澤孝朗	名古屋大学出版会	痛みの基礎となる生理学, 臨床病態学が記載。
痛みの集学的診療: 痛みの教育コアカリキュラム	日本疼痛学会痛みの教育コアカリキュラム編集委員会	真興交易医学出版部	生物心理社会モデルの観点から集学的に痛みを学べる。
運動器慢性痛診療の手引き	日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会	南江堂	足腰肩などの運動器の痛みへのアセスメントが記されている。
運動器慢性痛治療薬の選択と使用方法	山下敏彦, 牛田享宏	南江堂	足腰肩などの運動器の痛みへの薬物療法のポイントが記されている。
痛みの考え方 しくみ・何を・どう効かす	丸山一男	南江堂	ペインクリニック的観点から痛みの理解を深める。
リエゾン精神医学とその治療学	山脇成人 編	中山書店	身体医学と精神医学を併せて考えて治療を進めるための読本。
自分で痛みを管理しよう	坂本篤裕, 河原裕泰	真興交易医学出版部	体の痛みにアプローチするために患者の理解を上げさせるための教本。
慢性疼痛治療ガイドライン	慢性疼痛治療ガイドライン作成ワーキンググループ	真興交易医学出版部	最新のからだの長引く痛みの現状が学べる。

6 準備学習(予習・復習)

『疼痛医学(医学書院)』の内容を確認しておくこと(1コマあたり1時間)。

7 授業計画

(1) 講義の方法

PowerPoint などを利用したスライドによる講義。

症例を使ったアクティブ・ラーニング。

(2) 講義の内容

慢性疼痛に関する概念から治療法までを講義形式で行う。